

Title	あとがき
Author(s)	大阪外国語大学学術出版委員会
Citation	大阪外国語大学論集. 1 p.381
Issue Date	1990-01-25
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/79472
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

あ　と　が　き

今春四月一日より、新しく「学術出版委員会」が発足いたしました。

本委員会は従来「図書委員会」が担当いたしておりました審議事項の内、「学術に関する事項」を引継ぎますと共に、さらにそれを発展させた形で「学術出版事業を推進し、その他本学の学術研究の振興に必要な事項」を審議するために創設されたものです。

なお従来の「図書委員会」が担当していた『大阪外国語大学学報』の標題につきましては、これまで様々な論議がありました。「図書委員会」は二度にわたってアンケートを実施し、その結果に基づき、『大阪外国語大学論集』と改めることを決議し、新委員会に申し送りました。本委員会はその決議に従い、『大阪外国語大学学報』を前第77号で終刊とし、ここに『大阪外国語大学論集』改題第1号を刊行させていただきます。これまでの『学報』へのご執筆、ご協力に感謝いたしますと共に、今後『論集』のために、倍旧のご執筆、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

なおメディアの転換期に当り、わが国の活字離れが急激に進みます中で、私共の学術研究の成果を世に問うことは、日毎に困難になりつつあることを痛感させられております。本委員会はそうした趨勢に対する私共のささやかな抵抗の拠点であります。そうした試みの一つとして、『大阪外国語大学学術研究双書』の刊行を企画、目下その最初の試みが進行中であります。

予算等多くの制約があります中で、いかに効率的に私共の研究成果を世に問い続けていくかについては、まだまだ多くの論議と工夫の余地があるように思われます。是非多くの方々のお知恵やご経験を汲み上げて、創意豊かな活動を展開したいと念願している次第です。いずれに致しましても、私共の試みが、将来何らかの秀れた成果を結ぶことができますかどうかは、ひとえに教官、職員の皆様のご好意とご協力にかかっているものと思われます。何とぞ今後のご協力をお願いいたします。

1989年11月2日

大阪外国語大学

学 術 出 版 委 員 会